別 紙

###

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ＭＡＲＵＫＯ
住　所	宇城市松橋町久具１３４番地
電話番号	0964-33-3833

事業所番号	4312700398
管理者名	松田　敬司
対象年度	令和３年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

＜活動場所＞

（株）緒方商店様第二工場・松橋工場

＜実施日程＞

令和２年４月～令和３年３月

＜実施した生産活動・施設外就労の概要＞

食品加工の生産活動

＜利用者数等＞

第二工場１２名・松橋工場６名

＜目的＞

＜地域連携活動のねらい＞

企業様とのＷｉｎ－Ｗｉｎの関係を築く

＜地域にとってのメリット＞

企業様は人材不足の解消と事業拡大の実現

＜対象者にとってのメリット＞

簡単な作業で生産活動としてマッチングしている。
一般就労へつなげることが出来る活動と考えられる。

＜成果＞

＜実施した結果＞

企業様とのＷｉｎ－Ｗｉｎの関係が達成出来ている。

＜得られた成果＞

以前と比較し生産活動が向上しＲ２年度は利用者さんへ支払った賃金の総額以上となっている。

	ＭＡＲＵＫＯ
2015年度	¥3,680,172
2019年度	¥14,687,261
差異（プラス）	11,007,089
伸び率	299%

＜課題点＞

まだ生産活動でロスが見られるので随時対策していく。

＜活動の様子＞

＜活動の様子の写真＞

第二工場
パック詰め

松橋工場
唐揚げ味つけ

＜成果物の写真＞

第二工場
パック詰め

松橋工場
唐揚げ味つけ

＜活動内容の追加コメント＞

最初慣れるまでに数か月かかったが、委託先様からの支援員への教育で、支援員からの利用者さんへの教育で無駄なロスが減少し、現状の生産まで向上している。

連携先の企業等の意見または評価

＜連携した結果に対する意見または評価＞

連携については、お互い事業の拡大を目標にとてもマッチングしていると思っている。委託先の天使の翼の評価については、切っても切れない縁であり、当社の事業所において不可欠な存在になっている。仕事ぶりについては、毎日同じような仕事をお願いしているが、非常にまじめに取り組んでもらっている。品質面についても、指導員の指導により、衛生的な商品作りと標準作業も守られていると考える。

＜今後の連携強化に向けた課題＞

今後も一緒に新しい生産拡大を目指していきたい。

連携先企業名	株式会社緒方商店	担当者名	代表取締役　緒方博明